

酉誉上人鑽仰和讃

(二人舞)

横山 菁児 作曲
藤間 勘紫恵 振付

唱え奉る酉誉上人鑽仰	正座のまま静かに合掌
御和讃に	合掌のまま左足をくずして静かに立ち両手をおろす

1 番

歌	左生	右生
そ		帯より扇をぬく
ー		
う		
そ		
う		
こ		扇を胸前で開きながら右足より数歩前へ進み 右足で止まる
こ		
に		
ー		
ろ		扇の親骨を持ち外へ返ししながら左足を右足の 前に一歩やや膝をまげつつ出す 左手は左斜下に伸ばす
ー		
っ		
び		
や		
く		
さい		右手扇を右斜め上にあげていく
ー		
ー		
(休)		
か	帯より扇をぬく	そのままの姿勢で待つ
ー		
が		
や		
く		

歌	左生	右生
ほ う と う 	扇を胸前で開きながら右足より数歩前に進み、右足で止まる	
で ん じ し	扇の親骨を持ち、外へかえして斜め右下へ出し、左足を出しながら座る 左手は左斜め下に伸ばす	左足を一步引きつつ、扇を口元に持ってくる (扇を前に倒しながら扇の銀面が方面にくるように口元に持ってくる「折目3本目程」)
て ひ か	下手の人と顔を見合わせる 扇を平手に持ち、両手一緒にすくい上げるように右斜め上にあげ、	上手の人と顔を見合わせる
り あ ま ね	自分のまわりを一回りさせ、自分の前で手を伸ばす(扇が上で重なる) 右生は右足を一步出し、左足より五歩でまわり、五歩目でそろえる 左生はそのままの足で左足より五歩まわり五歩目でそろえる	
く ぞ		体前で小さく円を描き、両手を受けるようにして重ね
う じ よ う		
じ か い		扇を頂き、軽く低頭 両手を左斜め下に流しつつ、右手斜め上にあげ

歌	左生	右生
さ	左手斜め上にあげる	
ー		
ん		
ゆ		
う	両手、自然に両横から下ろし	
よ		
ー		
ー		
し	体前にて合掌	
よ		
う		
ー		
に	軽く低頭する	
ん		
の		
ー		
ー	一度扇を出し扇を後ろよりすくい上げて 右前へ伸ばす	一度扇を出し扇を後ろよりすくい上げて 左奥へ伸ばす、その時
か		
お	右足を一度引き、すくって出す時右足を出す 扇をヒラヒラ(2～3回)上から下へ下ろしながら 体の横へ伸ばす その時、右足をうしろへ引く (互いに向き合いの形)	右足を一度引き、すくって出す時右足を出す 扇をヒラヒラ(2～3回)上から下へ下ろしながら 体の横へ伸ばす その時、右足をうしろへ引く (互いに向き合いの形)
ー		
り		
も		
た		
か		
き		
ー		
ー	正面向き	
が		

歌	左生	右生
く	扇は体前を通り、円を描くように右斜め下へ下ろし、左手を左耳の横でたてる	扇は体前を通り、半円を描くように右斜め下へ下ろす 左手は右袂を持つ 右足は前へ出し直す
ー		
と		
く		
を	聞く感じにする 右足前で座る	目線は右斜め上より左斜め上を見る
ー		
ー		
あ お		
ぎ	目線を扇に移す	
ー	左手人差し指を出し、左斜め上に指すように伸ばす	
ー た		
た え		
ん	目線を左手に移していく	
ー		
ー		
だ	両手右斜め下へ下げる	右足を一步引き、両手右斜め下へ下げる
い	左手扇の手前、紙のところを上から軽く持ち、腰を立てる	左手人差し指を出し、円を描くようにしながら左斜め上をさす 顔は左手を追う
ー		
お		
ん		
き	左斜め上を見る(右生の指す方を目で追いながら)	右足は一步左足の前へ出し直す
ー		
ー		
(休)		

2 番

歌	左生	右生
ち	左手を袖の中に入れ、扇を持ち握り	左手を袖の中に入れ、扇を握り持ち
ー	下手の人の方を向き、隠れる(扇が前)	左生の人の方を向き、開けてみる
ば	足はそのまま 顔をかくす	足はそのまま
け		
の		
や	扇と左袖であけて右生をみる	扇と左袖で隠れる 顔をかくす
か	左足を出す	扇が前で、右足を引く
た		
に		
ー		
う	扇と左袖で隠れる	扇と左袖であけて左生をみる
ー	左足を引く	右足を出す
ま		
れ		
い		
で	扇と左袖であけてみる	左袖口を口元につける 扇は握りのままやや前へ、少し膝を折る、一旦正面を向き、それから左生と顔を見合わせる
ー	左足を出し、顔を見合わせる	
ー		
(休)		
ほ	中まわり、後ろ向きで扇を握り手のまま	扇を握り手のまま体前にて左袖で顔を隠すように左足を右足の前へ出して半回りして、左袖を胸につけ、扇を横へ伸ばす
ー	体前にて左袖で顔を隠すように左足を右足の前へ出して半回りして、左袖を胸につけ、扇を横へ伸ばす	扇を握り手のまま体前にて左袖で顔を隠すように左足を右足の前へ出して半回りして、左袖を胸につけ、扇を横へ伸ばす
と		
け		
の		
え		
ん		
に		
ー		

歌	左生	右生
ま ー も ら れ	扇で顔を隠すように右足を左足の前へ出して、まわりかえす	扇で顔を隠すように右足を左足の前へ出して、まわりかえす
て ー ー お さ	扇を抱くように両手胸につける	扇を抱くように両手胸につける
な ー ー く た ど	前向きで扇を伏せ上にて胸前であわせる	扇を伏せ手に持ち直して、後ろ向きで、扇が上にて
る ー ー の り ー の み ち ー ー ね ん	両手をのばしながら右足より正面奥へ入る 後ろ向き	胸前であわせる 両手を伸ばしながら右足より前へ出る
	両者顔を見合わせる	
	両者重なり、右生の方は前に左膝立ち腰をおとし 左生の方は右足前で後ろ向きになる	
	左手胸の前に軽くつけ、扇右斜め下へのばし、両者振り返る	
	(左より振り返る)	
	扇を胸につけ、左手を左斜め下へ伸ばし、両者振り返る	
	(右より振り返る)	
	扇、握り手に持ち	

歌	左生	右生
ぶ	かいぐりして斜め下へ一度ほどき 上へかぶせるようにする(扇が上) (この時に左生は左足一歩引きつつ上手回りで正面を向きはじめる)	
ー		
つ		
しゅ		
う		
は	右足前で正面向き(扇が上)	そのまま手と扇を伏せる(扇が上)
ー		
ー		
ちゅ		
う	両手上へあげるようにゆっくりとひらく	
う	両手 肩の位置より斜下	
ー		
こ		
う		
の		
ー		
ー		
げ		
い	左手を小さく円を描くようにやや斜め左上で受ける	扇、小さく円を描くようにやや斜め右上で受ける
い	扇は伏せて、やや右斜め下	左手は伏せて、やや左斜め下
ー		
し		
に		
う		
け	扇、小さく円を描くようにやや右斜め上で受ける	左手を小さく円を描くようにやや左斜め上で受ける
し	扇は伏せて、やや左斜め下	扇は伏せて、やや右斜め下
ー		
ー		
お		
お		
お	扇ですくいながら	左手ですくいながら

歌	左生	右生
丨	下手に数歩移動する	上手に数歩移動する
う		
ぎ		
こ		
	ここで両生入れ替わる	
そ	<右生と左生が入れ替わり、右生が左生となる> 右足で止まる	<右生と左生が入れ替わり、左生が右生となる> 左足で止まる
丨		
丨		
こ じゅ		
う	扇、顔の横にし、左手肩の高さ前へ伸ばす	左手、顔の前に伸ばし、扇は肩の高さに伸ばす
丨	左手の顔の横、扇、やや斜め下	扇、肩の横に伸ばし、左手をやや左下に伸ばす
丨		
の		
ひ みや		
く	(振り返る感じに)	(振り返る感じに)
丨	左生クルリと回り、扇、握り手に持ち、横一の	右生その場でクルリと回り、扇、握り手に持ち、
丨		
け		
た		
丨	字を書くように伸ばし、足を右左と二歩出し腰をおとす	横一の字を書くように伸ばす
の		
で		
ん		
丨		
丨	伏せた扇をたててあける、顔は正面をみる、左手は右袂をもつ	
(休)		

3 番

歌	左生	右生
せ ー い ぎ せ	右足一步出し、同時に扇を上にあけて出し 手は下に重ねる 扇と左手をまるめて少し膝を折る (やや中むき)	左足少し向きを変え扇を上にあけて出し 左手は下に重ねる 扇と左手をまるめて膝を折る (やや中むき)
ん ぷ の ー		
ひ ー は も え	外から集めるように寄せてくる 右足を引いて	外から集めるように寄せてくる 左足を引いて
て ー ー (休)	扇と手を伏せる 右足を左足にそろえる	扇と手を伏せる 左足を右足にそろえる
あ ー ら わ す	足は2回おすべり(左足より)をし、扇と左手を互いに重ねながら 手を変えて、上にまるめ重ねあげる	
と こ ろ ー		

歌	左生	右生
に	①扇、②左手を交互に2回上に重ね上げる 3回目で煙が立つように①扇、②左手と斜め少し上に広げる	
い じ ゆ		
う		
よ		
ぶ		
ー		
ー		
かん		
	右足を一步引きつつ扇を右斜め下に下し、要返して自分の前、右足を一步前に出し直しながら上にあげる	
も	左手は右袂をおさえる 足は右足を一步引いて、又、出し直す 要返した扇をほどきながら下へさげる 右足を引く	
ー		
ー つ		
も り		
て		
ー		
ー		
ひ ゃ		
	右足を一步出し中腰になり、扇は親骨を持ち、	左足を出して下手まわりで後ろ向き、扇の親骨を
く	正面向きに立て、そして一度伏せて、後ろ向き 前方を振り返り扇は上にあげる、左足が前になる	
ー		
ご		
じ ゆ		
う		
ー		
ー		
じ ょう う		
	向き合い、扇を前へ伸ばし左手二の腕に添える	

歌	左生	右生
ど	右足を入れ込む 中より扇と左手をあける 右足を左足にそろえる	
ー		
は		
っ		
そ		
の	左手前へ伸ばし、扇を左手二の腕に添える、左足入れ込む 中より扇と左手あける 左足を右足に戻してそろえる 要を返して扇を握り手に持ち左方の位置へもってきて	
ー		
ー		
は		
れ	左手で扇の左側の紙の所を上から持ち そのまま握りこみ、右斜め下の位置にもってきて 右手で扇の要を下より受け取る 足は、左足、右足と二歩引く	
ー		
の		
ぞ		
に		
ー		
ー		
え		
い	右足右横すべり出し、打ち下ろして 中回りで前向き、右足より軽く三回踏む	右横へすべり出し、打ち下ろして中回りで 後ろ向き右足より三回軽く踏む
ー		
さ		
い		
が		
く		
そ		
う		
ー	そのままの向きで両手が下を通り	そのままの向きで、両手が下を通り、扇を頭の
ー		
ー		
つ		

歌	左生	右生
ど	半円を描くようにして左手を頭の上にあげ、 扇、左二の腕に添える	上にあげ、左手は二の腕に添える、足はやや 開き両足かえす(ツマ先が右向き)
ー	足はやや開き、両足かえす(ツマ先が右向き)	左手半円を描くようにして頭の上にあげ、扇は 左二の腕に添える、両足はかえす(ツマ先は左 向き)
い	扇半分を描くようにして頭の上にあげ、 左手、右二の腕に添える	
き	足はかえす(ツマ先左向き)	
て		
ー		
ー		
き よ う	扇、平手に持ち、阿弥陀様の方へやや中央	扇、持ちかえながら扇左手に持ち下手回りで
だ	奥に入り、扇は楕円を描くようにさす 右足とまる	平手に持ち、阿弥陀様の方へやや中央奥へ 入り、扇は楕円を描くようにさす 左足でとまる
ー		
ー ん		
の き		
そ		
ー		
ー		
っ	左手大きく上よりまわし	右手大きく上よりまわし
い		
ー		
に		
な	片手合掌	片手合掌
る	左足前へ出し、のびあがる	右足前へ出し、のびあがる
ー		
ー		
(休)		

4 番

歌	左生	右生
じ ー ん し ん	扇、左手 顔の横より(手の甲が外) 下におろしながら円をかくように少し 小走りに左斜めに出ていく(掌が上)	扇、左手に持ったままで、扇と右手 顔の横より (手の甲が外向き) 下におろしながら円をかくように小走りに右斜め に出ていく(掌が上)
す さ ぶ ー	右足前でとまる	左足でとまる
ら ー ん せ い	左手で斜め前方をさす 扇、右斜め下、右足引く	右手で斜め前方をさす 扇は左斜め下に、左足引く
に ー ー (休)	扇、平手のまま、斜め前方をさす 左手、左斜め下にさげ、左足引く	扇で下手前方をさす 右手後ろへやや下げる 右足引く
さ ー い ど の	左手で小さく円を描くように受けながら 右足を出して、上手まわりし、次に	右手で小さく円を描くように受けながら 左足を出して、下手まわりし、次に
あ め を ー	扇で小さく円を描くように受けながら 左足を前へ出して下手へまわり、	左手で小さく円を描くように受けながら 右足を前へ出して上手へまわり、

歌	左生	右生
ふ	扇と左手を体の外を通るように体の前へ寄せ 数歩あゆみ寄り向き合う	扇を右手に持ち替え、扇と左手を体の外を通る ように体の前へ寄せ、数歩あゆみ寄り向き合う
ー		
ら		
せ		
つ		
つ		
ー		
ー		
けえ		
ん	向き合ったまま、下手の人の扇と自分の扇を合 わせ、次にお互いの左手を合わせ、手をつなぐ	向き合ったまま、上手の人の扇と自分の扇を合 わせ、次にお互いの左手を合わせ、手をつなぐ
ー		
ー		
の		
た	扇の親骨を持ち表・裏とヒラヒラとしながら 左手の人の後	扇の親骨を持ち表・裏とヒラヒラとしながら 上手の人の前を
き		
ぎ		
ー		
ー	ろを通って下手に行く 扇、親骨を持ったまま、自分の前方へ持ってくる 左足が前で座り、左生の人と見合う	通って上手に後ろ向きでとまる 後ろ向きのまま、扇、親骨を持ち、自分の前方斜 め右上へ上がる 左足が前で下手の人を振り返る
ー		
ー		
つ		
き		
ー		
て		
よ		
り	<右生が左生に>	<左生が右生に>
ー		
ー		
いま		
	左手、中より左斜め前に出し	扇を中より右斜め前に出し

両者入れ替わる

歌	左生	右生
に ー ご ひ や く	左手手前へ小さくまるめて自分の体前より 右側から頭の上を通り、左体のやや横下へおろす 右斜めに体の向きを変え、目は右斜め上を見る	扇、手前へ小さくまるめて自分の体前より左側 から頭の上を通り、右体のやや横下へおろす 左斜めに体の向きを変え、左斜め上を見る
と ー ー ご	左足一步前 扇を中より左斜め前に出し、手前へ小さくまる	右足一步前 左手を中より左斜め前に出し、手前へ小さくま
じ ゆ ー う ね	めて自分の体前より左側から頭の上をとおり、 右体のやや横下へ下ろす 左斜めに体の向きを変え、左斜め上を見る	るめて自分の体前より右側から頭の上をとおり、 左体横下へ下ろす 右斜めに体の向きを変え、右斜め上を見る
ん ー ー み	右足一步前 扇、握り手に持ち、正面向き、扇と左袖口を持ち、右生は右足一步出し	左足一步前
あ ー と し たい	軽く握った左手を合わせ、ゆっくりひかえて、右足を引いて一足になる < 四隅を取る >	
て ー ー え	① 左手で右奥指し 左足前 ② 左手で左斜め指し 左足前 ③ 扇で左奥指し 右足前 ④ 左手で右斜めを指し 左足前 左手を左横に構え扇と入れかえ、腰をおとしていく	① 扇で左奥指し 右足前 ② 左手で右斜め指し 右足前 ③ 扇で右奥指し 左足前 ④ 左手で左斜めを指し 右足前 扇を右横に構え左手を入れかえ、腰をおとしていく

歌	左生	右生
ん		
ー		
ざ		
ん		
に	右生を見る	左生を見る
ー		
ー		
ほお	扇から左横よりすくうように右斜め前にもってくる	
お	足は一足にする(前足に合わせる)	
ー		
ー		
ん		
のか	左手、右横よりすくうように左斜め前にもってくる	
ぜ		
ー		
ー		
ひ	扇、握り手に持ち、右脇横で左手上に添え閉じる	
び		
ー		
あ	閉じた扇、手前へ倒し合掌	
ら		
た	軽く低頭	
ー		
ー		
(休)		

ポイント注意

大本山増上寺の開山 西誉上人のお徳を偲び、少しでもお念仏のみ心にふれさせていたきたいとの願いを込めて、お舞いください。

〔二人舞〕 お互いに見合うところが数ヶ所ありますので、その所をお互いがしっかりと見合うように注意してください。